



大方図書館では、代表作の「大原幽学」(上下巻)、「阿波用水」などを閲覧できます。

幡多出身の作家らの企画展を開催しており、今後も地方ならではの企画を考えているそうです。

「タカクラ・テル」の企画展
 黒潮町出身のタカクラ・テル(本名・高倉輝豊、1891～1986)の企画展が3月まで大方あかつき館で行われ、町内外から約400人が来場しました。
 タカクラ・テルは、四万十町で生まれ、黒潮町浮鞭で12歳まで過ごしました。京都帝国大学を卒業後、執筆活動を開始。その後、長野県に移住し農民運動に深く関わり、戦後は国会議員としても活躍しました。94歳で亡くなり、浮鞭の墓地に納骨されました。
 「タカクラ・テルは、上林暁と並ぶ黒潮町の著名人。地元の人たちにも知ってもらいたい」と山沖幸喜館長。大方あかつき館では、昨年度、横山充男、中脇初枝など、幡多出身の作家らの企画展を開催しており、今後も地方ならではの企画を考えているそうです。



表彰式は3月7日に大方あかつき館で行われ、参加した受賞者5人に表彰状と楯が授与されました。

第25回あかつき賞受賞者決定
 上林暁顕彰会が、今年度の「あかつき賞」を決定。町内小中学校児童生徒の文詩集「黒潮」の中から、次の7作品が選ばれました。
【受賞者・受賞作品】
 ● 佐賀小学校1年 永森優羽くん 「オオカマキリを見つけた」
 ● 佐賀小学校2年 浜田錦一郎くん 「弟と姉のけんか」
 ● 三浦小学校3年 長崎風恋さん 「楽しみだったマラソン大会」
 ● 入野小学校4年 中村光望さん 「ずっと生きていてほしかった」
 ● 田ノ口小学校5年 松本ももさん 「お父さんの転ぎん」
 ● 拳ノ川小学校6年 今西蘭さん 「いじめ防止ごもサミットに参加して」
 ● 大方中学校3年 本山百花さん 「今、伝えられること」



ぐっち協力隊がゆく!

地域おこし協力隊・田口佳子
 ☎43-3306 (旧馬荷小学校)

桜の便りが次々に聞かれ、春風が心地よい季節となりましたね。

早いもので、ぐっちが黒潮町民になって1年が経ちました。私が故郷の岡山を離れ、家族や友人がいない中、黒潮町でこれまでやってこられたのは、地域の方々の温かい支えがあったからこそ。いつも無理を聞いてくれ、力を貸し、励まし、家族のように接してくれました。本当に人が温かいですね。心から感謝でいっぱいです。

2年目からは、地域の方々の恩返しできるように活動して行きたいと思います。これからもお世話になります。

さて3月9日、「あったかふれあいセンターサテライトかきせ」の2回目が、旧馬荷小学校で行われました(主催はNPOしいのみ)。あいにくの雨にも関わらず今回も多くの参加者があり、地域のお母さん方が作ってくれた昼食が大変好評で、みんなで食べると一層おいしく、たくさんの笑顔を見ることができました。

4月からは毎週月曜日に実施されます。次回は4月6日。お申し込み・お問い合わせは旧馬荷小学校・田口まで。



3月の「サテライトかきせ」の様子。子どもからお年寄りまで集まり、みんなで食事やゲームを楽しみました。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。